

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートなは		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している。	・児童の「やりたい！」の声を拾い、活動に取り入れている ・曜日によって利用する児童が異なるため、活動が被らない様に工夫している。	研修や本、SNSツールを利用し、プログラムに沿った活動内容を考えていく。全スタッフが支援プログラムについて学び、考え、目的・ねらいをもった活動にする。
2	定期的に全職員でモニタリングを行い。現状の様子、成長段階に合わせて、支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	ミーティング他、全職員で様々な情報を収集したうえで、利用児のアセスメントをとり、一人一人に合った計画を立て、見直しを行っている。	今後も一人一人の児童に対して全職員が理解を深め、チームで意見を出し合い、必要な支援を行っている。

3	他事業所との交流の場を設けている	法人内の他事業所と土曜日、祝日、長期休みは交流活動を実施している。交流活動だけでなく、施設見学、遠足、クリスマス会等のイベントも開催。	環境を活かした安心、安全な空間を提供します。大きなイベントは開催数が少ないため、今までとは違うイベントも開催できるようにアイデアを出し合う。
---	------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、茶話会、親子レク、保護者参加可能な研修会等、保護者同士、スタッフとの交流の場を設けている。様々な関わりを持つ事で気軽に相談できる関係性を作るを目的としているが、ご家庭の都合等で参加が少ない。	告知が開催予定日ぎりぎりなため、すでに予定が入っている。 保護者にとって魅力的な内容にする。	参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保護者の意向を取り入れ、様々な方法を試していく。 年間行事を作成、配布し、イベントがあることを早めに意識してもらう。
2	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対策等のマニュアルを作成し、保護者へ周知、説明している。また、発生を想定した訓練を実施しているが、共有不足で実施しているか分からない。	やったこと、その時の様子を口頭で伝えているが印象としては薄いと思われる。実施したことを見える化していない。	ブログやその日の写真や動画を用いて保護者にも様子が伝わりやすいように工夫していく。
3	地域での活動を実施したいが中々開催できない。	事業所付近にはあるが平日にしか開いてない等により、実行出来ていない。	近場でなくても時間、日程があう施設等の情報を集めていく。インターネットの活用だけでなく、保護者、学校、直接訪問をして情報収集をする。